

一般社団法人 恵那青年会議所

2022年度 基本資料

目次

| | | |
|--------|--------------------------------|----|
| 2022年度 | 理事長基本方針 藤井 真也…………… | 1 |
| | 理事長所信…………… | 2 |
| 2022年度 | 一般社団法人恵那青年会議所 役員名簿…………… | 4 |
| 2022年度 | 一般社団法人恵那青年会議所 役員委員会組織構成図…………… | 5 |
| 2022年度 | 一般社団法人恵那青年会議所 年間スケジュール…………… | 6 |
| 2022年度 | 出向者一覧…………… | 7 |
| 2022年度 | 副理事長・専務理事 基本方針…………… | 8 |
| | 副理事長 加藤 健二…………… | 8 |
| | 副理事長 古屋 一郎…………… | 8 |
| | 専務理事 瀨瀬 駿…………… | 9 |
| 2022年度 | 委員会基本方針及び事業計画…………… | 10 |
| | まちづくり委員会 委員長 保母 達則…………… | 10 |
| | 働き方改革推進委員会（事務局） 委員長 柄澤 一樹…………… | 12 |
| | 拡充・アカデミー実行委員会 実行委員長 加藤 健二…………… | 14 |
| | 地域活性化プロジェクト 実行委員長 瀨瀬 駿…………… | 16 |
| 2022年度 | 担当監事割振り表、クラブキャプテン名簿…………… | 18 |
| 2022年度 | 一般社団法人恵那青年会議所 委員会職務分掌…………… | 19 |
| 2022年度 | 正味財産増減補正予算書…………… | 20 |
| 2022年度 | 賛助会員名簿…………… | 22 |
| | 一般社団法人恵那青年会議所 歴代理事長…………… | 23 |
| | 社団法人 恵南青年会議所 歴代理事長…………… | 25 |

2022年度 理事長基本方針

一般社団法人 恵那青年会議所
2022年度 理事長 藤井 真也

一般社団法人 恵那青年会議所 2022年度 スローガン



作 (ZAKU)
未来への挑戦

基本方針

- ・魅力あるまちづくり (まちづくり)
- ・時代に即した価値観の導入 (働き方)
- ・未来の組織のために (会員拡充)
- ・柔軟な組織運営

理事長所信

【はじめに】

2022年、「新日本の再建は我々青年の仕事である」という志のもとスタートした恵那青年会議所は65年目を迎えました。この長い年月の間に社会は、多産多子から少産少子へと移り変わり、考え方やあり方など私達を取り巻く環境は大きく変化しました。時代が変われば求められる「明るい豊かな社会」の姿も変わります。今、まさしく私達はその岐路にいます。ゆとりとうるおいが一層求められるようになった昨今、私達は紡がれたものを守り育てると同時に、量から質へと思考の転換を図り社会の変化に対応することが求められています。伝統を引き継いでいくための変えない決意と、明るい未来を創造するための変える勇気を持って新たに取り組むことが必要であり、今日の私達に与えられた責務と考えます。

変わらないために、変わる

そのために、私達は夢と希望に満ち溢れた未来を思い描き、新しい時代に対応するべく、変化や失敗を恐れず、未知の可能性に果敢に挑戦し、「明るい豊かな社会」を切り拓くため立ち止まることなく未来へ向かって進んでいきましょう。

【魅力あるまちづくり】

かつての人口増加、都市の膨張拡大、右肩上がりの経済成長といった状況から、本格的な人口減少や投資余力の減少等が予見される今、人々の意識も量的な充足から質の高さを重視する方向にシフトしたことで、多様性のある暮らしを求める方向へと変化してきました。この変化に対して、私達は今何ができるのか。私は今こそ、この多様性を包括する積極的で柔軟性のあるまちづくりが求められていると考えます。

そのためには、限りある資源を有効に活用し、地域の主役である市民を巻き込んだ身近なまちづくりを進めていくことが重要です。今までにない個性的な発想や魅力的な取り組みによって多くの市民が、身近な課題に気づき、主体性を持って自らが地域課題を解決していけるような環境を創出できるように取り組んでまいります。

他団体との共生の中で主導となり、私達にしかない行動力と、感性で、私達にしかできないまちづくりを展開することで、このまちのさらなる信頼を獲得し、次なる期待感を預からなければなりません。そして市民が理想の未来を語り合い、夢や希望を叶えるための先進的な試みに心を躍らせる。そんな環境をつくり出し、静寂化したこのまちに新たな希望と喜びを生み出します。

【時代に即した価値観の導入】

私達を取り巻く社会環境は常に刻々と変化しており、少子高齢化、核家族化、介護社会、女性の社会進出などの変化で従来の働き方の見直しや新しい価値観が求められ、誰もがその変化に備える必要があります。

少子高齢化が進み、若い人財が減っていくこの局面において、今や「働き方改革」は

「やるかやらないか」ではなく「どう進めていくか」の段階であり、環境を整え、優秀かつ多様な人財を集めて、組織としての付加価値向上を考えることは、青年会議所会員としても青年経済人としても必要な経営戦略そのものであると考えます。

「働き方改革」の推進は、この課題の解決のため、個々の事情に応じ、柔軟で無理のな

い多様な働き方を選択できる組織、社会を実現するために、新たな価値観の導入を図ります。

自ら機会をつくり出し、機会によって自らを変えることは、会員一人ひとりがより良い将来の展望を持つために必要であり、その力はこの地域にとって明るい未来へとつながっていくと確信します。

【未来の組織のために】

今後長期にわたって会員の減少が見込まれている中、組織が潤滑に循環していくためには会員減少及び問題点に対して目を背けずに適切な対策を講じていくことが、地域を問わず最も重要な施策の一つではないでしょうか。新しい取り組みは、ポジティブで華やかな会員拡大だけでなく、何かを減らしていくという一見するとネガティブな要素もある取り組みも入っています。これからそれを提案していくことも、決断することも、きっと、とても労力がいきます。それでも挑戦するのは、全会員共通の願いとして「この組織をつないでいきたい」という強い思いがあるからです。

2022年度、私達は従来の考え方や枠にとらわれず、組織の編成や運営、活動のあり方や携わり方についても見直し、時代の流れに合わせた組織へと改革していきます。マイナスイメージの払拭を図り、魅力的な組織へ。短期的視点ではなく、長期的視点で。今改めて土壌に手を加えより良くすることはやがて未来において大輪の花を咲かせるために必要な活動であると考えます。

言葉だけではなく行動を、未来ある魅力ある組織となるためにより新鮮で柔軟な発想を活かせる環境作りに取り組んでいきます。

【柔軟な組織運営】

現代社会は、新型コロナウイルスの影響で世界中にさまざまな変化が訪れました。未来の予測は困難を極め、不確実性も高まっています。こうした社会環境の変化に伴って、組織の運営も、従来とは異なる視点で行わなければならないようになってきています。この目まぐるしく変化する時代に適応するためには、その環境に合った組織のあり方が求められており、外部環境の変化に対して素早く柔軟に対応できる適応力と、環境の変化を捉え能動的に進化する創造力が必要です。

このピンチを変革の機会と捉え、有限である時間を大切に、一定の規律を守りながらも必要なものを取捨選択する柔軟性を持ち合わせることで、ルールに沿って円滑に運営が行える、より柔軟で自立的な組織を目指します。

【結びに】

歴代最少人数でのスタートを迎える本年度、少なくともできること、少ないからこそできること、未知の可能性に果敢に挑戦し続ける最少で、最高の組織が今動き出します。

新しい道を切り拓くとき、困難に立ち向かうとき、新しいことに挑戦するとき、大きな決断と勇気がもとめられます。できない理由を探すのではなく、できる理由を探す。まずは何でもやりたいことを楽しんでやってみる。シンプルでスマートに、考えるより行動を起こしていくことが大切です。

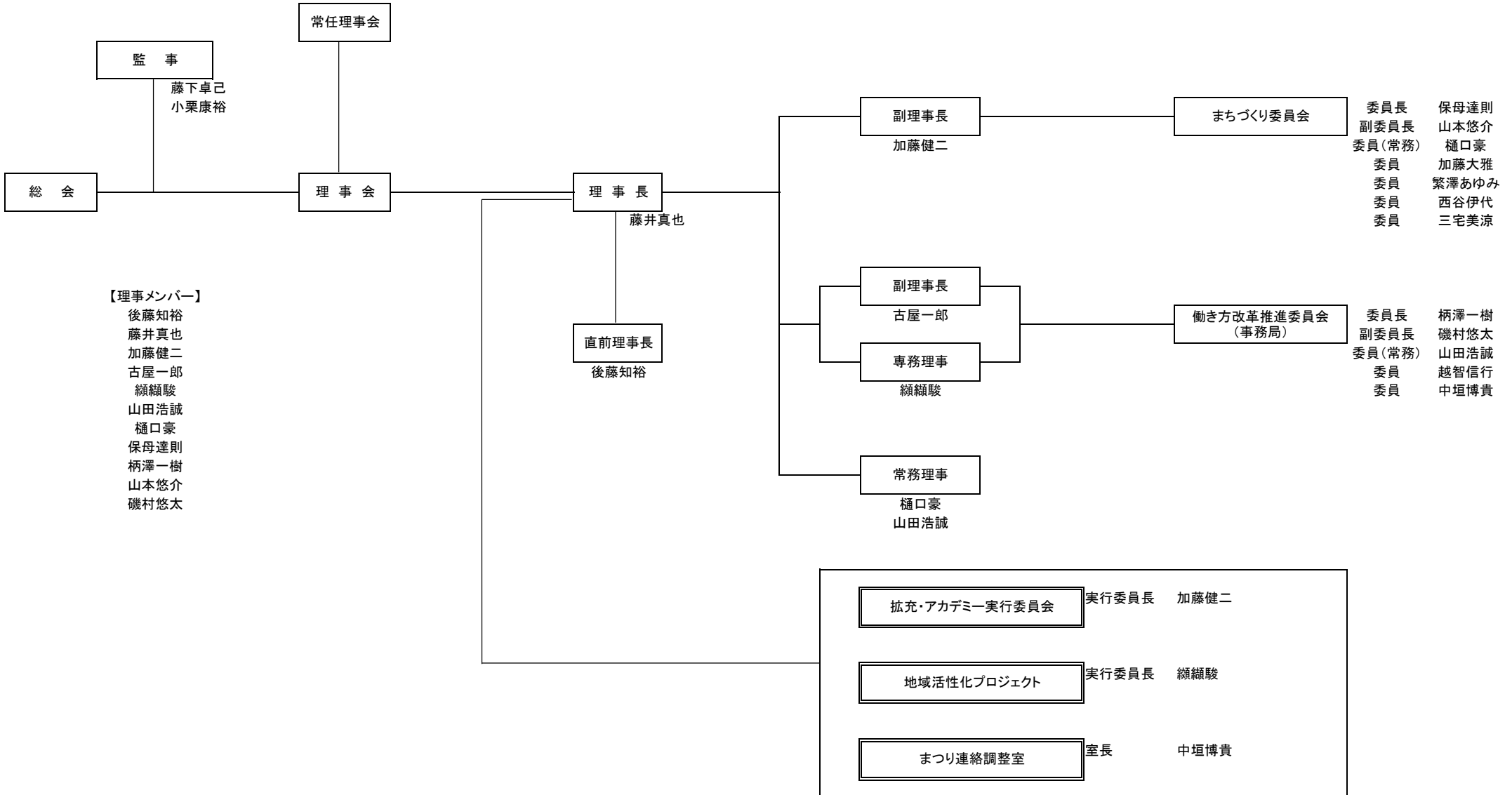
これからやってくる新しい時代に対応するために、変化や失敗を恐れず、皆を照らす道しるべとなるべく輝き続けるために行動してまいります。

2022年度 一般社団法人 恵那青年会議所 役員名簿

| 役 員 | 氏 名 |
|----------------------|-------|
| 理 事 長 | 藤井 真也 |
| 直 線 理 事 長 | 後藤 知裕 |
| 監 事 | 藤下 卓己 |
| 監 事 | 小栗 康裕 |
| 副 理 事 長 | 加藤 健二 |
| 副 理 事 長 | 古屋 一郎 |
| 専 務 理 事 | 瀨瀬 駿 |
| 常 務 理 事 | 山田 浩誠 |
| 常 務 理 事 | 樋口 豪 |
| まちづくり委員会 委員長 | 保母 達則 |
| まちづくり委員会 副委員長 | 山本 悠介 |
| 働き方改革推進委員会（事務局） 委員長 | 柄澤 一樹 |
| 働き方改革推進委員会（事務局） 副委員長 | 磯村 悠太 |
| 拡充・アカデミー実行委員会 実行委員長 | 加藤 健二 |
| まつり連絡調整室 室長 | 中垣 博貴 |
| 地域活性化プロジェクト 実行委員長 | 瀨瀬 駿 |

一般社団法人恵那青年会議所2022年度組織構成図

(総会員18名)+外部監事1名



2022年度 一般社団法人恵那青年会議所 年間スケジュール

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----------------|---|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--|------------------------|---|--|---|---|-----------------------------|----------------|
| JCI 日本JC | 第1回総会 22日(土)(京都) 京都会議 20日(木)～23日(日) (京都) | | 第2回総会 26日(土) | | JCI ASPAC 26日(木)～29日(日) (大阪・堺高石) | | サマーコンファレンス 16日(土)～17日(日) (横浜) 国際アカデミー 6日(水)～10日(日) (小田原) | | | 第3回総会 8日(土)(大分) 全国大会 6日(木)～9日(日) (大分) | JCI世界会議 7日(月)～11日(金) | |
| 東海地区協議会 | 第1回 会員会議所会議 21日(金)(京都) | | 第2回 会員会議所会議 26日(土)東京 | | | | 第3回 会員会議所会議 東海フォーラム2022 23日(鳥羽) | | | | 第4回 会員会議所会議 | |
| 岐阜BC協議会 | 第1回 会員会議所会議 29日(土)(WEB) 岐阜会議 6日(日)(岐阜) 会員拡大セミナー 6日(日)(岐阜) | | 第2回 会員会議所会議 5日(土)(西濃) | 第3回 会員会議所会議 9日(土)(飛騨) | 第4回 会員会議所会議 14日(土)(中濃) | BCじゃがいも大会 (美濃加茂) | 岐阜BCアカデミー | 第5回 会員会議所会議 27日(土)(東濃) 岐阜BC大会2022 28日(日)(土岐) | 会員拡大セミナー (土岐) 野球大会 (高山) | サッカー大会 (各務原) | 第6回 会員会議所会議 20日(日)(関) | |
| 例 会 | 15日(土) | 20日(日) | 10日(木) | 11日(月) | 10日(火) | 10日(金) | 23日(土) | 10日(水) | 10日(土) | 23日(日) | 5日(土) | 10日(土) |
| まちづくり委員会 | | | ● | | | ● | | | | ●○ | | ● |
| 働き方改革推進委員会(事務局) | ○ | | | | ● | | | | ● | | ●○ | |
| 拡充・アカデミー実行委員会 | | | ○ | ● | | ○ | | | ○ | | | |
| 地域活性化プロジェクト | | | | | | | ●○ | | | | | |
| 執行部 | ● | ● | | | | | | ● | | | | |
| 例会及び事業名 | 通常総会 | 2月度例会 東濃会議 13日(日)土岐 | 3月度例会 LOM内アカデミー | 4月度例会 | 5月度例会 | 6月度例会 LOM内アカデミー | 7月度例会 | 臨時総会 | 9月度例会 みのじのみのり祭 24日(土)～25日(日) LOM内アカデミー | 10月度例会 | 11月度例会 | 12月度例会 卒業例会 |
| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 第8回 | 第9回 | 第10回 | 第11回 | 第12回 |
| 常任理事会 | 12月16日(木) | 1月17日(月) | 2月17日(木) | 3月17日(木) | 4月15日(金) | 5月16日(月) | 6月16日(木) | 7月15日(金) | 8月16日(火) | 9月16日(金) | 10月17日(月) | 12月16日(金) |
| 理 事 会 | 1月6日(木) | 2月2日(水) | 3月2日(水) | 4月1日(金) | 5月6日(金) | 6月2日(木) | 7月1日(金) | 8月2日(火) | 9月2日(金) | 10月3日(月) | 11月2日(水) | 12月23日(金) |

●・・・例会 ○・・・事業

2022年度 出向者一覧

| 協議会名 | 委員会名称 | 役 職 | 名 前 |
|-----------|-------------------|-----|-------|
| 東海地区協議会 | 東海フォーラム2022運営委員会 | 委員 | 山本 悠介 |
| 岐阜ブロック協議会 | 組織連携推進会議 | 委員 | 中垣 博貴 |
| 岐阜ブロック協議会 | アカデミー委員会 | 委員 | 磯村 悠太 |
| 岐阜ブロック協議会 | 岐阜ブロック大会2022実行委員会 | 委員 | 樋口 豪 |

副理事長 加藤 健二

我々が求める「豊かさ」は、不足しているものを補うばかりでなく個々の幸福を満たすことに価値を見出すようになりました。時代に即した「明るい豊かな社会」の実現には、多様な人財との出会い・交流によって生み出される新たなまちづくりが不可欠であると考えます。

我々が新たなまちづくりに果敢に挑戦するためには、市民一人ひとりとの出会いを大切に、多様なニーズを包括した、市民にとって身近なまちづくりを行う必要があります。市民にとってまちづくりが身近なものになることで、主体性が芽生え、やがては市民の手による「魅力あるまちづくり」が実現するのではないかと考えます。

一期一会、我々が得た出会いすべてが未来へ挑戦するためのチャンスであると捉え、あらゆるパートナーと手を取りあえる環境づくりを目指すとともに、恵那青年会議所がこのまちに新たな希望を灯し続けることができる魅力ある組織であるために全力で行動いたします。

副理事長 古屋 一郎

恵那青年会議所がこの先も変わることのない存在としてあり続けるためには、内なる変化を恐れない姿勢が必要です。会員数の減少に伴って、会員数が多かった時にはできていたことが、できなくなってしまうことはマイナス方向に捉えられがちです。しかし、このピンチはまたとないチャンスであると考えます。誰も経験したことのない状況だからこそ、今までできなかった新しい挑戦が可能になると確信しています。

挑戦を可能にするためには、多様性のある組織であることが求められます。新たな価値観の共有や、社会情勢や時代の変化に合わせて、能動的に運営方法を変化、進化させるしなやかさを組織に取り入れてまいります。恵那青年会議所の中で、こうした改革を取り入れていくことで、変化を恐れない大胆な挑戦ができる土壌を育てていきます。

藤井理事長を支える両輪の片軸として、恵那青年会議所が未来の時代にも必要とされるために、新たな組織を「作」る挑戦を推し進めてまいります。

多様性、「働き方改革」といった言葉とともに新たな観点が生まれています。このような時代の潮流に我々は遅れないようにするのではなく、先進的に取り入れ、進めていかなければなりません。青年会議所が育んできた価値観が時代の潮流に合わせて進化するためには、互いが互いを補完し合い、個人の成長と組織の成長がより柔軟で自立的に行えることが必要だと考えます。充実した時間を過ごすためには、一定の規律を会員が遵守でき、それぞれが能動的に動くことができる環境を整える必要があります。少人数での組織運営は、会員同士の新たな価値観の共有と、より濃密な時間を過ごし、より良い事業を行うことができるチャンスだと捉えています。

未来への挑戦は、この先も存在し続ける恵那青年会議所の長期ビジョンのスタートです。恵那青年会議所のより良い発展のために土壌を耕し種を蒔くために、次代を見据えた組織作りをしてまいります。

2022年度 委員会基本方針及び事業計画

まちづくり委員会

委員長 保母 達則

【基本方針】

人口減少や少子高齢化の進行に加え、グローバル化という大きな環境変化の中で、市民が自分らしく充実して生きるためには、地域の実情に合わせたまちづくりを、市民や地域の様々な団体の参加によって推し進めることが必要です。

また、市民と地域の個性を尊重した多様な地域課題を解決していくためには、市民の多様・多層なネットワークによってもたらされる相乗作用を発揮できる環境が必要であると考えます。

我々は、多様な人々が関り合う中で、互いの違いを尊重し、理解し合いながら、まちづくりに主体的に関わる環境づくりに努めます。また、多様なまちづくりの担い手と有機的なネットワークを構築することで、様々なアイデアや発想を生み出し、地域課題に対して持続可能な解決策を見出していきます。

このまちに住み暮らす人々が、このまちの未来に心を躍らせ取り組む「魅力あるまちづくり」を実現していきます。

【事業開催計画】

(単位：円)

| 事業名称 | 実施日 | 実施場所 | 事業目的 | 予算額 |
|----------------|-----------------|------|--|---------|
| 3月度例会 | 3月10日 (木曜日) | 恵那市内 | 問題の根本を解決するために「課題を発見する力」を向上させることを目的とする。 | 20,000 |
| 6月度例会 | 6月10日 (金曜日) | 恵那市内 | 課題を達成するために「考える力」を向上させることを目的とする。 | 10,000 |
| 10月度例会 (事業) | 10月23日 (日曜日) | 恵那市内 | 市民を巻き込んだまちづくりを行うことを目的とする。 | 180,000 |
| 12月度例会 | 12月10日 (土曜日) | 恵那市内 | 卒業生へ感謝を伝え、卒業生の想いを引継ぎ、送り出すことを目的とする。 | 90,000 |
| 事業費合計 | | | | 300,000 |

【委員会開催計画】

| 委員会名称 | 実施日 | 実施場所 | 実施内容 |
|-----------|-----------------|------|--|
| 第1回予定者委員会 | 10月7日 (木曜日) | 恵那市内 | 委員会方針について 会員拡充運動について |
| 第2回予定者委員会 | 11月15日 (月曜日) | 恵那市内 | 委員会方針・事業計画・職務分掌について 10月度事業について 会員拡充運動について |
| 第3回予定者委員会 | 12月13日 (月曜日) | 恵那市内 | 委員会方針・事業計画・職務分掌について 3月度例会について 会員拡充運動について |
| 第1回委員会 | 1月13日 (木曜日) | 恵那市内 | 2月度例会について 3月度例会について 会員拡充運動について |
| 第2回委員会 | 2月7日 (月曜日) | 恵那市内 | 2月度例会について 3月度例会について 会員拡充運動について |
| 第3回委員会 | 3月4日 (金曜日) | 恵那市内 | 3月度例会について 6月度例会について 会員拡充運動について |
| 第4回委員会 | 4月6日 (水曜日) | 恵那市内 | 6月度例会について 10月度事業について 拡充・外部参加者受入れ① 地域活性化プロジェクトについて |
| 第5回委員会 | 5月12日 (木曜日) | 恵那市内 | 6月度例会について 10月度事業について 会員拡充運動について 地域活性化プロジェクトについて |
| 第6回委員会 | 6月6日 (月曜日) | 恵那市内 | 6月度例会について 10月度事業について 会員拡充運動について 地域活性化プロジェクトについて |
| 第7回委員会 | 7月6日 (水曜日) | 恵那市内 | 10月度事業について 拡充・外部参加者受入れ② 地域活性化プロジェクトについて |
| 第8回委員会 | 8月5日 (金曜日) | 恵那市内 | 10月度事業について 拡充・外部参加者受入れ③ みのじのみり祭について |
| 第9回委員会 | 9月5日 (月曜日) | 恵那市内 | 10月度事業について 12月度例会について 会員拡充運動について みのじのみり祭について |
| 第10回委員会 | 10月5日 (水曜日) | 恵那市内 | 10月度事業について 12月度例会について 会員拡充運動について |
| 第11回委員会 | 11月7日 (月曜日) | 恵那市内 | 12月度例会について 会員拡充運動について |
| 第12回委員会 | 12月5日 (月曜日) | 恵那市内 | 12月度例会について 会員拡充運動について 次年度引継ぎについて |

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

【基本方針】

本年、恵那青年会議所の活動を支える事務局は、働き方改革推進委員会としても新たな活動に取り組みます。これまでの経験や人員でできていたことが難しくなったとき、あきらめるのではなくどうしたらできるのかを前向きに考え、未来を自らの手で創り出す。そうした力を青年である我々は持っている、私は確信しています。

その素晴らしい能力を引き出すために組織として必要なことは、多様性への対応です。様々な人財がそれぞれの考え方や生き方を尊重され、持てるスキルを遺憾なく発揮するための働きやすい環境と続いていく仕組みを作ること。また、外部の多種多様な方々と手を取り合い、これまで気づけなかった新しい発想を生み出す機会を絶え間なく作り、その実現に向けて協働すること。この組み合わせこそが、時代に即した新しい価値観を持つ人を作り、組織を作り、そしてまちを変え、社会を変えていきます。そのための先陣を今、切ってまいります。

【事業開催計画(案)】

(単位：円)

| 事業名称 | 実施日 | 実施場所 | 事業目的 | 予算額 |
|---|----------------|------|--|---------|
| 5月度例会 | 5月10日 (火曜日) | 恵那市内 | 働き方改革について学び、推進する素地を作ることを目的とする。 | 20,000 |
| 9月度例会 | 9月10日 (土曜日) | 恵那市内 | 外部の組織や一般市民と連携し、働き方改革を推進する機運を高めることを目的とする。 | 30,000 |
| 11月度例会 (事業) | 11月5日 (土曜日) | 恵那市内 | 外部の組織や一般市民と協力し、時代に即した価値観を発信することを目的とする。 | 250,000 |
| 諸会議の設 営・運営・庶 務(財務コン プライアンス 審査を含む) | 通年 | | 諸会議の設営・運営・LOM 内の庶務・財務・コンプライ アンス審査を統括すること を目的とする。 | 0 |
| 諸会議におけ る会議資料の 作成・チェッ クおよび取り まとめ | 通年 | | 諸会議を円滑にすすめるこ とを目的とする。 | 0 |
| (一社) 恵那 青年会議所の 広報記録活動 | 通年 | | (一社) 恵那青年会議所の活 動内容を記録・発信すること でスムーズな活動に資する ことを目的とする。 | 0 |
| 事業費合計 | | | | 300,000 |

【委員会開催計画】

| 委員会名称 | 実施日 | 実施場所 | 実施内容 |
|-----------|-----------------|------|---|
| 第1回予定者委員会 | 10月7日 (木曜日) | 恵那市内 | キックオフミーティング 本年度の基本方針の説明 各委員からのヒアリング |
| 第2回予定者委員会 | 11月26日 (金曜日) | 恵那市内 | 通常総会について 委員会事業計画について 会員拡充運動について |
| 第3回予定者委員会 | 12月13日 (月曜日) | 恵那市内 | 通常総会について 京都会議・岐阜会議について 事務局体制振り返り（働き方） 拡充・外部参加者受入① |
| 第1回委員会 | 1月13日 (木曜日) | 恵那市内 | 通常総会について 会員拡充運動について |
| 第2回委員会 | 2月3日 (木曜日) | 恵那市内 | 拡充・外部参加者受入② |
| 第3回委員会 | 3月4日 (金曜日) | 恵那市内 | 5月度例会について 会員拡充運動について 事務局体制振り返り（働き方） |
| 第4回委員会 | 4月7日 (木曜日) | 恵那市内 | 5月度例会について 11月度事業について 拡充・外部参加者受入③ |
| 第5回委員会 | 5月12日 (木曜日) | 恵那市内 | 5月度例会について 11月度事業について アカデミー実行委員会について 会員拡充運動について |
| 第6回委員会 | 6月9日 (木曜日) | 恵那市内 | 5月度例会振り返り 9月度例会について 11月度事業について サマコンについて 東海フォーラムについて 事務局体制振り返り（働き方） 地域活性化について 拡充・外部参加者受入④ |
| 第7回委員会 | 7月21日 (木曜日) | 恵那市内 | 9月度例会について 11月度事業について 臨時総会について 岐阜ブロック大会について 地域活性化プロジェクトについて 会員拡充運動について |
| 第8回委員会 | 8月4日 (木曜日) | 恵那市内 | 9月度例会について 11月度事業について 拡充・外部参加者受入⑤ |
| 第9回委員会 | 9月8日 (木曜日) | 恵那市内 | 9月度例会について 11月度事業について まちづくり委員会について 全国大会について 事務局体制振り返り（働き方） 会員拡充運動について |
| 第10回委員会 | 10月6日 (木曜日) | 恵那市内 | 9月度例会振り返り 11月度事業について 拡充・外部参加者受入⑥ |
| 第11回委員会 | 11月4日 (金曜日) | 恵那市内 | 11月度事業について 会員拡充運動について |
| 第12回委員会 | 12月8日 (木曜日) | 恵那市内 | 11月度事業振り返り 拡充・外部参加者受入⑦ 次年度引継ぎについて |

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

【基本方針】

組織が「若さ」を保ち、いつの時代にも魅力的な存在であり続けるには、個人の多様な価値観を包括する共通の価値を組織として明確にし、市民を巻き込む力を発揮する必要があります。

本年度は、我々のことを市民に知ってもらう活動を行うと同時に、なぜこの組織を未来へ紡ぎ続ける必要があるのかを全会員で認識し、個人の力を活かし合いながら組織全体で仲間を迎える活動ができる環境づくりに取り組みます。また、アカデミー対象者には入会時に抱いた期待や予感に応えられる学びを提供し、新たな自分との出会いを創出します。会員と向き合った取り組みを推進することによって、組織の価値が高まり、恵那青年会議所が未知なる同志や市民に対して魅力を発しながら未来へ挑戦し続ける組織になると確信し、活動いたします。

【事業開催計画】

(単位：円)

| 事業名称 | 実施日 | 実施場所 | 事業目的 | 予算額 |
|-------------|----------------|------|--|--------|
| 会員拡充運動 | 通年 | 恵那市内 | より持続可能な組織となるために必要な改革を計画・実行することを目的とする。 | 0 |
| L O M内アカデミー | 3・6・9月 | 恵那市内 | 恵那青年会議所の価値を理解するとともに、J A Y C E Eとしての育成を目的とする。 | 10,000 |
| 4月度例会 | 4月11日 (月曜日) | 恵那市内 | 多様な団体や個人が一堂に会する機会を設け、人脈の拡充と恵那青年会議所の認知度の向上を目的とする。 | 50,000 |
| 事業費合計 | | | | 60,000 |

【委員会開催計画】

| 委員会名称 | 実施日 | 実施場所 | 実施内容 |
|-----------|-----------------|------|--|
| 第1回予定者委員会 | 10月7日 (木曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて |
| 第2回予定者委員会 | 11月10日 (水曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて |
| 第3回予定者委員会 | 12月2日 (木曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて |
| 第1回委員会 | 1月13日 (木曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて |
| 第2回委員会 | 2月7日 (月曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて 4月度例会について |
| 第3回委員会 | 3月4日 (金曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて 4月度例会について |
| 第4回委員会 | 4月6日 (水曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて 4月度例会について |
| 第5回委員会 | 5月12日 (木曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて |
| 第6回委員会 | 6月6日 (月曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて |
| 第7回委員会 | 7月6日 (水曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて |
| 第8回委員会 | 8月5日 (金曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて |
| 第9回委員会 | 9月5日 (月曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて |
| 第10回委員会 | 10月5日 (水曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について LOM内アカデミーについて |
| 第11回委員会 | 11月7日 (月曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について |
| 第12回委員会 | 12月5日 (月曜日) | 恵那市内 | 会員拡充について総括 |

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

【基本方針】

地域の活性化とは何か。人が動き、資源が動き、経済が動き、まちが豊かになることではないでしょうか。地域の主役は市民です。恵那市民約50,000人は決して少ない数字ではありません。恵那市民の多くに認識され、市民の多くが参加するプロジェクトを生むことは、大きな活性化の流れを作る可能性を秘めています。

我々青年会議所は、今までの地域活動の在り方を理解した上で、いつの時代も市民の一步先に行く明るい未来を描き、時代の変化を感じ取りながら新たな取り組みを行わなければなりません。参加していただいた方々が、地域の新たな個性や魅力に気づく環境を創出することで地域活性化の波紋は広がっていきます。

本年のプロジェクトは実行委員長が作るのではなく、会員全体を巻き込んで構築します。全員で作る新たなプロジェクトで、まちの活性化と、恵那青年会議所の注ぎるよう邁進してまいります。

【事業開催計画】

(単位：円)

| 事業名称 | 実施日 | 実施場所 | 事業目的 | 予算額 |
|---------------|----------------|------|----------------------------|---------|
| 7月度例会 (事業) | 7月23日 (土曜日) | 恵那市内 | 地域を活性化することができるプロジェクトを実行する。 | 300,000 |
| 事業費合計 | | | | 300,000 |

【委員会開催計画】

| 委員会名称 | 実施日 | 実施場所 | 実施内容 |
|-----------|-----------------|------|-------------|
| 第1回予定者委員会 | 12月13日 (月曜日) | 恵那市内 | 7月度事業について |
| 第1回委員会 | 1月13日 (木曜日) | 恵那市内 | 7月度事業について |
| 第2回委員会 | 2月3日 (木曜日) | 恵那市内 | 7月度事業について |
| 第3回委員会 | 3月4日 (金曜日) | 恵那市内 | 7月度事業について |
| 第4回委員会 | 4月7日 (木曜日) | 恵那市内 | 7月度事業について |
| 第5回委員会 | 5月12日 (木曜日) | 恵那市内 | 7月度事業について |
| 第6回委員会 | 6月9日 (木曜日) | 恵那市内 | 7月度事業について |
| 第7回委員会 | 7月21日 (木曜日) | 恵那市内 | 7月度事業について |
| 第8回委員会 | 8月4日 (木曜日) | 恵那市内 | 7月度事業決算について |
| 第9回委員会 | 9月8日 (木曜日) | 恵那市内 | 7月度事業決算について |

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

2022年度 担当監事割り表

| | |
|----|------------------|
| 監事 | 藤下 卓己 |
| | ・働き方改革推進委員会（事務局） |
| | ・執行部 |
| 監事 | 小栗 康裕 |
| | ・まちづくり委員会 |
| | ・拡充・アカデミー実行委員会 |
| | ・地域活性化プロジェクト |

2022年度 クラブキャプテン名簿

| | |
|-------|-------|
| サッカー部 | 山本 悠介 |
| 野球部 | 磯村 悠太 |
| じゃがいも | 古屋 一郎 |

一般社団法人 恵那青年会議所 2022年度委員会及び理事長直轄室職務分掌

1. まちづくり委員会

- (1) まちづくり事業の実施
- (2) 卒業例会の実施
- (3) 会員拡充運動の実施
- (4) (一社) 恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
- (5) その他

2. 働き方改革推進委員会 (事務局)

- (1) 働き方改革推進事業の実施
- (2) 諸会議の設営、運営、庶務 (財務、コンプライアンス審査含む)
- (3) 諸会議における会議資料の作成、チェック及び取りまとめ
- (4) 基本資料の作成
- (5) 情報発信例会の実施
- (6) 臨時総会の設営、運営
- (7) 会員拡充運動の実施
- (8) (一社) 恵那青年会議所の広報記録活動
- (9) (一社) 恵那青年会議所の総務及び財務に関する一切
- (10) (一社) 恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
- (11) その他

3. 執行部

- (1) 総会の開催
- (2) 理事長直轄室の支援
- (3) 会員拡充運動の実施
- (4) (一社) 恵那青年会議所の運営に関する一切
- (5) その他

4. 拡充・アカデミー実行委員会

- (1) 会員拡充運動の推進及び実施
- (2) LOM内アカデミーの開催
- (3) BCアカデミー委員会との連携
- (4) その他

5. 地域活性化プロジェクト

- (1) 地域活性化プロジェクトの企画・実施
- (2) その他

6. まつり連絡調整室

- (1) みのじのみり祭実行委員会との連携・連絡・運営の一切
- (2) その他

正味財産増減補正予算所

2022年1月1日から2022年12月31日まで

| 科 目 名 | 2022年度 | 2021年度 | 増 減 | 備 考 |
|---------------------|------------------|-----------------|------------------|----------------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| ①特定資産運用益 | 0 | 0 | 0 | |
| 特定資産利息 | (0) | (0) | (0) | |
| ②受取会費 | 2,430,000 | 2,800,00 | △ 370,000 | |
| 正会員会費 | 2,340,000 | 2,620,00 | △ 280,000 | |
| 基本金 | (1,800,000) | (2,280,00) | △ 480,000 | 120,000*15名 |
| 新入会員 () | (120,000) | (120,000) | 0 | |
| 新入会員 () | (120,000) | (0) | 120,000 | |
| 新入会員 () | (0) | () | 0 | |
| 準会員会費 | (240,000) | (0) | 240,000 | 120,000*2名 |
| 2021年付加金(入会金) | (60,000) | (30,000) | 30,000 | |
| 2021年付加金(事業資金) | (0) | (190,000) | △ 190,000 | |
| 特別会員会費 | (90,000) | (180,000) | △ 90,000 | 30,000*3名(2021年度卒業生) |
| 賛助会員会費 | 240,000 | 270,000 | △ 30,000 | |
| 個人 | (0) | (0) | (0) | 10,000*0名(2022年度) |
| 法人 | (240,000) | (270,000) | △ 30,000 | 30,000*8名(2022年度) |
| ③事業収益 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業繰入収益 | (0) | (0) | (0) | |
| 登録料収益 | (0) | (0) | (0) | |
| 雑収益 | (0) | (0) | (0) | JCIカード/スマイル |
| ④受取補助金等 | 260,000 | 320,000 | △ 60,000 | |
| 国庫補助金 | (0) | (0) | (0) | |
| 地方公共団体補助金 | (0) | (0) | (0) | |
| 民間補助金 | (0) | 60,000 | △ 60,000 | 日韓親善協会 |
| 補助金等交付業務受託金 | (0) | (0) | (0) | |
| 国庫助成金 | (0) | (0) | (0) | |
| 地方公共団体助成金 | (0) | (0) | (0) | |
| 民間助成金 | (260,000) | (260,000) | (0) | O B会事務手数料※確定後補正にて反 |
| ⑤受取負担金 | 0 | 0 | 0 | |
| ⑥受取寄付金 | 0 | 0 | 0 | |
| ⑦雑収益 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取利息収益 | (0) | (0) | (0) | |
| その他雑収益 | (0) | (0) | (0) | |
| ⑧他会計からの繰入金 | | 0 | 0 | |
| 日本J C本体会計からの繰入金 | (0) | (0) | (0) | |
| 地区・ブロック協議会からの繰入金 | (0) | (0) | (0) | |
| 他会計からの繰入金 | () | (0) | (0) | |
| 経常収益計 | 2,930,000 | 3,390,00 | △ 460,000 | |
| (2) 経常費用 | | | | |
| ①事業費 | 1,010,000 | | 1,010,000 | |
| 事業費 | 1,010,000 | | 1,010,000 | |
| 執行部 | (50,000) | | 50,000 | |
| まちづくり委員会 | (300,000) | | 300,000 | |
| 働き方改革推進委員会(事務局) | (300,000) | | 300,000 | |
| 拡充・アカデミー実行委員会 | (60,000) | | 60,000 | |
| 地域活性化プロジェクト | (300,000) | | 300,000 | |
| ①事業費(2021年度) | 0 | 910,000 | △ 910,000 | |
| 事業費 | 0 | 910,000 | △ 910,000 | |
| 執行部 | (0) | (100,000) | △ 100,000 | |
| 青少年育成推進委員会 | (0) | (500,000) | △ 500,000 | |
| 事務局 | (0) | (250,000) | △ 250,000 | |
| 会員拡大・アカデミー実行委員会 | (0) | (50,000) | △ 50,000 | |
| ヨンドク交流実行委員会 | (0) | (10,000) | △ 10,000 | |
| 委員会運営費 | (0) | (0) | (0) | |
| 事業予備費 | (0) | (0) | (0) | |
| ②管理費 | 1,259,600 | 1,712,30 | △ 452,700 | |
| 会議費 | (61,600) | (23,100) | 38,500 | 理事会(総.850×16回) |
| 通信運搬費 | (135,000) | (135,000) | (0) | |
| 電話代 | (120,000) | (120,000) | (0) | |
| 運搬代 | (0) | (0) | (0) | |
| その他通信費 | (15,000) | (15,000) | (0) | 十六銀行銀行データ通信費 |
| 減価償却費 | (0) | (0) | (0) | |
| 図書・研修費 | (0) | (0) | (0) | |
| 消耗品費 | (100,000) | (100,000) | (0) | |
| リース料 | (0) | (0) | (0) | |
| 修繕費 | (0) | (0) | (0) | |

| | | | | |
|------------------------|------------------|-----------------|------------------|---------------------------|
| 印刷製本費(基本資料) | (0) | (211,200) | (△ 211,200) | |
| 光熱水料 | (0) | (0) | (0) | |
| 賃借料 | (726,000) | (726,000) | (0) | 55,000*12 5,500*12 |
| 業務委託費 | (60,000) | (60,000) | (0) | ホームページ管理委託費 |
| 保険料 | (0) | (0) | (0) | |
| 租税公課 | (22,000) | (22,000) | (0) | 法人県民税 |
| 固定資産税 | (0) | (0) | (0) | |
| その他の租税公課 | (22,000) | (22,000) | (0) | |
| 広告宣伝費 | (70,000) | (0) | (70,000) | |
| 渉外費 | (50,000) | (400,000) | (△ 350,000) | 慶弔費・渉外費 |
| 支払手数料 | (20,000) | (20,000) | (0) | |
| 雑費 | (10,000) | (10,000) | (0) | 理事長記念品費 |
| 管理・運営予備費 | (5,000) | (5,000) | (0) | |
| ③負担金 | 522,291 | 663,960 | △ 141,669 | |
| 日本JC会費 JCI 会費 | (31,616) | (31,460) | (156) | 26,624 (US\$13*128) *19 名 |
| 日本JC会費基本金 | (30,000) | (30,000) | (0) | 50 名まで 25 名増加毎+15,000 |
| 日本JC会費附加金 | (95,000) | (100,000) | (△ 5,000) | 5,000*19 名 |
| WE BELIEVE JCPress 購読料 | (57,000) | (60,000) | (△ 3,000) | 3,000*19 名 |
| 日本JC出向者負担金 | (0) | (0) | (0) | |
| 日本じゃがいもクラブ | (20,000) | (20,000) | (0) | |
| 日本JC国際協力資金 | (34,675) | (36,500) | (△ 1,825) | 365*5*19 名 |
| 京都会議 LOM 登録料 | (8,000) | (8,000) | (0) | |
| 東海地区協議会 基本金負担金 | (28,500) | (30,000) | (△ 1,500) | 1,500*19 名 |
| 岐阜ブロック会費基本額 | (18,000) | (18,000) | (0) | |
| 岐阜ブロック会員附加金 | (57,000) | (60,000) | (△ 3,000) | 3,000*19 名 |
| 岐阜ブロック会費役員負担金 | (0) | (0) | (0) | |
| 岐阜ブロック会員大会負担金 | (47,500) | (50,000) | (△ 2,500) | 2,500*19 名 |
| 岐阜ブロック野球大会登録料 | (30,000) | (30,000) | (0) | |
| 岐阜ブロックサッカー大会登録料 | (25,000) | (25,000) | (0) | |
| 岐阜ブロックじゃがいも大会登録料 | (10,000) | (10,000) | (0) | |
| わんぱく相撲ブロック大会負担金 | (0) | (0) | (0) | |
| わんぱく相撲全国大会負担金 | (0) | (0) | (0) | |
| 全国JCサッカー大会登録料 | (0) | (0) | (0) | |
| 日韓親善協会 | (0) | (5,000) | (△ 5,000) | |
| 中山道駅伝 | (10,000) | (10,000) | (0) | |
| 国際交流協会 | (20,000) | (20,000) | (0) | |
| 出向者への支援金 | (0) | (70,000) | (△ 70,000) | 2022 年度適用無 |
| 70 周年記念事業への積立金 | (0) | (50,000) | (△ 50,000) | |
| ④他会計への繰入金 | 0 | 0 | 0 | |
| 日本JC本体会計への繰入金 | (0) | (0) | (0) | |
| 地区・ブロック協議会への繰入金 | (0) | (0) | (0) | |
| 経常費用計 | 2,791,891 | 3,286,26 | △ 494,369 | |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 0 | 0 | 0 | |
| 特定資産評価損益等 | 0 | 0 | 0 | |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期経常増減額 | 138,109 | 103,740 | 34,369 | |
| 2 経常外増減の部 | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | |
| ①固定資産売却益 | 0 | 0 | 0 | |
| ②固定資産受贈益 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | |
| (2) 経常外費用 | | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期一般正味財産増減額 | 138,109 | 103,740 | 34,369 | |
| 一般正味財産期首残高 | 1,870,863 | 1,772,12 | 98,740 | |
| 一般正味財産期末残高 | 2,008,972 | 1,875,86 | 133,109 | |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | |
| 当期指中下味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 | |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 | |
| III 正味財産期末残高 | 2,008,972 | 1,875,86 | 133,109 | |

2021年度期首残高

| | | |
|------------------------|-----------|-----------------|
| 正味財産期首残高(内訳) | 一般会計 | 1,772,12 |
| | 事業費予備 | 0 |
| | | 0 |
| | 周年準備金 | 511,792 |
| | | |
| 貸借対照表参照 2020年12月31日(現) | 合計 | 2,283,91 |

2021年度第1次補正

| |
|------------------|
| 1,870,863 |
| 0 |
| 0 |
| 561,792 |
| |
| 2,432,655 |

2022年度 賛助会員名簿

| 番 号 | 会 社 名 |
|-----|------------------|
| 1 | 株式会社 恵那三洋製作所 |
| 2 | 株式会社 エナ重機 |
| 3 | 株式会社 銀の森コーポレーション |
| 4 | セントラル建設 株式会社 |
| 5 | 有限会社 それいゆ |
| 6 | 株式会社 柘植建設 |
| 7 | 株式会社 東海技研 |
| 8 | 西山建設 株式会社 |
| 9 | 株式会社 丸河興業 |
| 10 | 株式会社 山本急行 |
| 11 | 吉村産業 株式会社 |

一般社団法人恵那青年会議所
歴代理事長

創立年月日 昭和33年5月10日

認定番号第145号

スポンサー J C 一般社団法人中津川青年会議所

| | | | | |
|-----|------|-------|-------|-----------------|
| 初 | 代理事長 | 昭和33年 | 中神 友彦 | (株)丸河興業 |
| 二 | 代理事長 | 昭和34年 | 中神 友彦 | (株)丸河興業 |
| 三 | 代理事長 | 昭和35年 | 中神 友彦 | (株)丸河興業 |
| 四 | 代理事長 | 昭和36年 | 安藤 健一 | (株)土田屋呉服店 |
| 五 | 代理事長 | 昭和37年 | 安藤 健一 | (株)土田屋呉服店 |
| 六 | 代理事長 | 昭和38年 | 古田 忠好 | |
| 七 | 代理事長 | 昭和39年 | 阿部 龍輔 | セントラル建設(株) |
| 八 | 代理事長 | 昭和40年 | 中山銀次郎 | 東濃魚菜(株) |
| 九 | 代理事長 | 昭和41年 | 鈴木銀之助 | カクト本店 |
| 十 | 代理事長 | 昭和42年 | 三島 充 | |
| 十一 | 代理事長 | 昭和43年 | 松井 栄一 | (株)菊水堂 |
| 十二 | 代理事長 | 昭和44年 | 山田 基 | (株)マル五鐵構 |
| 十三 | 代理事長 | 昭和45年 | 近藤 時夫 | 近藤電気工業(株) |
| 十四 | 代理事長 | 昭和46年 | 小嶋 洋平 | (有)菊屋 |
| 十五 | 代理事長 | 昭和47年 | 熊崎 健一 | |
| 十六 | 代理事長 | 昭和48年 | 荒川 昇 | |
| 十七 | 代理事長 | 昭和49年 | 中山 義幸 | |
| 十八 | 代理事長 | 昭和50年 | 丸山 朝夫 | (株)マルヤ |
| 十九 | 代理事長 | 昭和51年 | 永屋 俊幸 | (有)フジ |
| 二十 | 代理事長 | 昭和52年 | 原 謙司 | |
| 二十一 | 代理事長 | 昭和53年 | 市川 賛平 | 恵那醸造(株) |
| 二十二 | 代理事長 | 昭和54年 | 安藤 和雄 | (有)賀藤 |
| 二十三 | 代理事長 | 昭和55年 | 佐藤 忠男 | 大東京火災海上保険代理店 |
| 二十四 | 代理事長 | 昭和56年 | 加藤 孝長 | ヤマトヤ |
| 二十五 | 代理事長 | 昭和57年 | 青山 貫禅 | (株)青山 |
| 二十六 | 代理事長 | 昭和58年 | 小澤 隆徳 | ダスキン恵那 |
| 二十七 | 代理事長 | 昭和59年 | 館林 正孝 | (株)館林 |
| 二十八 | 代理事長 | 昭和60年 | 田中 義人 | 東海新栄電子工業(株) |
| 二十九 | 代理事長 | 昭和61年 | 木藤 修 | (株)中建 |
| 三十 | 代理事長 | 昭和62年 | 市川 康夫 | 市川康夫会計事務所 |
| 三十一 | 代理事長 | 昭和63年 | 山本 恵嗣 | 山本石油(株) |
| 三十二 | 代理事長 | 平成 元年 | 岩本 哲臣 | (株)岩本 |
| 三十三 | 代理事長 | 平成 2年 | 市川 雅敏 | 中部観光(株) |
| 三十四 | 代理事長 | 平成 3年 | 金子 一弘 | 金子建築工業(株) |
| 三十五 | 代理事長 | 平成 4年 | 西山 昌幸 | 西山建設(株) |
| 三十六 | 代理事長 | 平成 5年 | 阿部伸一郎 | セントラル建設(株) |
| 三十七 | 代理事長 | 平成 6年 | 可知 照章 | (株)エミ |
| 三十八 | 代理事長 | 平成 7年 | 岩井 慶次 | (有)centwave.com |
| 三十九 | 代理事長 | 平成 8年 | 水野 勝 | |
| 四十 | 代理事長 | 平成 9年 | 阿部 護 | セントラル建設(株) |
| 四十一 | 代理事長 | 平成10年 | 柘植 孝彦 | (有)柘植建設 |
| 四十二 | 代理事長 | 平成11年 | 小林 稔 | (有)清進堂 |

一般社団法人恵那青年会議所
歴代理事長

創立年月日 昭和 33 年 5 月 10 日

認定番号第 145 号

スポンサー J C 一般社団法人中津川青年会議所

| | | | | |
|-----|------|----------|-------|-----------|
| 四十三 | 代理事長 | 平成 1 2 年 | 脇田 誠 | (有)ベスト飲料 |
| 四十四 | 代理事長 | 平成 1 3 年 | 小林 浩司 | (株)リード |
| 四十五 | 代理事長 | 平成 1 4 年 | 丸山大八郎 | (株)マルヤ |
| 四十六 | 代理事長 | 平成 1 5 年 | 高木 應浩 | 東栄製紙工業(株) |
| 四十七 | 代理事長 | 平成 1 6 年 | 山内 敏敬 | (有)ヤマウチ |
| 四十八 | 代理事長 | 平成 1 7 年 | 有賀 正典 | |
| 四十九 | 代理事長 | 平成 1 8 年 | 大野 幸泰 | (株)大野工機 |
| 五十 | 代理事長 | 平成 1 9 年 | 木下 晃一 | (有)木下建材工業 |
| 五十一 | 代理事長 | 平成 2 0 年 | 篠田 大作 | (有)シノダック |
| 五十二 | 代理事長 | 平成 2 1 年 | 渡辺 好作 | (株)銀しゃり本舗 |
| 五十三 | 代理事長 | 平成 2 2 年 | 安藤 潤也 | 安藤鉄工(株) |
| 五十四 | 代理事長 | 平成 2 3 年 | 板頭 拓志 | ミリオン電工(株) |
| 五十五 | 代理事長 | 平成 2 4 年 | 加藤 規久 | (株)東海技研 |
| 五十六 | 代理事長 | 平成 2 5 年 | 吉村 将明 | 吉村産業(株) |
| 五十七 | 代理事長 | 平成 2 6 年 | 河原 三次 | (株)丸河興業 |
| 五十八 | 代理事長 | 平成 2 7 年 | 田口 勝一 | (株)エナ重機 |
| 五十九 | 代理事長 | 平成 2 8 年 | 山本 英史 | (株)山本急行 |
| 六十 | 代理事長 | 平成 2 9 年 | 市川 直樹 | 中部観光(株) |
| 六十一 | 代理事長 | 平成 3 0 年 | 西山 陽祐 | 西山建設(株) |
| 六十二 | 代理事長 | 平成 3 1 年 | 藤下 卓己 | (株)デジタ |
| 六十三 | 代理事長 | 令和 2 年 | 小栗 康裕 | オグリ電子(株) |
| 六十四 | 代理事長 | 令和 3 年 | 後藤 知裕 | (株)ごとう観光 |

社団法人恵南青年会議所
歴代理事長

創立年月日 昭和 39 年 3 月 29 日
認定番号第 286 号

| | | | | |
|-----|------|----------|-------|---------------|
| 初 | 代理事長 | 昭和 4 0 年 | 松井 高志 | (株)丸ス松井材木店 |
| 二 | 代理事長 | 昭和 4 1 年 | 松井 高志 | (株)丸ス松井材木店 |
| 三 | 代理事長 | 昭和 4 2 年 | 横田 隆司 | 明知製陶(株) |
| 四 | 代理事長 | 昭和 4 3 年 | 加藤 稔 | (株)加藤材木店 |
| 五 | 代理事長 | 昭和 4 4 年 | 味岡蓮太郎 | |
| 六 | 代理事長 | 昭和 4 5 年 | 川村 達也 | 川村工務店 |
| 七 | 代理事長 | 昭和 4 6 年 | 梅村 哲郎 | 明知製陶(株) |
| 八 | 代理事長 | 昭和 4 7 年 | 成瀬 郁夫 | 成瀬電気商会 |
| 九 | 代理事長 | 昭和 4 8 年 | 和田 光男 | 明智鋳業(株) |
| 十 | 代理事長 | 昭和 4 9 年 | 横田 晴彦 | (有)エーピーエフ |
| 十一 | 代理事長 | 昭和 5 0 年 | 平林 利一 | 明栄建設工業(株) |
| 十二 | 代理事長 | 昭和 5 1 年 | 奥田 隆一 | オクダ時計店 |
| 十三 | 代理事長 | 昭和 5 2 年 | 三宅 均 | (株)ヤマサ三宅材木店 |
| 十四 | 代理事長 | 昭和 5 3 年 | 西尾 和郎 | 丸上寒天産業(株) |
| 十五 | 代理事長 | 昭和 5 4 年 | 松井 真 | (株)丸ス松井材木店 |
| 十六 | 代理事長 | 昭和 5 5 年 | 小木曾琢二 | マルコ醸造(株) |
| 十七 | 代理事長 | 昭和 5 6 年 | 成瀬 恭平 | 高成化学鋳業(有) |
| 十八 | 代理事長 | 昭和 5 7 年 | 吉村 典男 | 吉村産業(株) |
| 十九 | 代理事長 | 昭和 5 8 年 | 春日井正章 | 山平鋳業(株) |
| 二十 | 代理事長 | 昭和 5 9 年 | 伊藤 敏一 | 伊藤繁一商店 |
| 二十一 | 代理事長 | 昭和 6 0 年 | 遠山 哲雄 | 遠山材木店 |
| 二十二 | 代理事長 | 昭和 6 1 年 | 加藤 正波 | 丸美礦業(株) |
| 二十三 | 代理事長 | 昭和 6 2 年 | 味岡 真治 | アジオカ電気店 |
| 二十四 | 代理事長 | 昭和 6 3 年 | 伊藤 誠紀 | (株)伊藤商会 |
| 二十五 | 代理事長 | 平成 元年 | 堀 泰明 | (有)明智給油所 |
| 二十六 | 代理事長 | 平成 2 年 | 水野 良則 | (有)銭坂畜産 |
| 二十七 | 代理事長 | 平成 3 年 | 伊藤 辰也 | とうふのつねさ |
| 二十八 | 代理事長 | 平成 4 年 | 三宅 秀明 | 三宅畳店 |
| 二十九 | 代理事長 | 平成 5 年 | 西尾 修欣 | ライフエナジー山岡(株) |
| 三十 | 代理事長 | 平成 6 年 | 桜井 義等 | 朝日屋 |
| 三十一 | 代理事長 | 平成 7 年 | 加藤 博靖 | 丸カ耐火工業(株) |
| 三十二 | 代理事長 | 平成 8 年 | 加藤 博史 | (株)加藤材木店 |
| 三十三 | 代理事長 | 平成 9 年 | 木村 典彦 | 丸八製材(株) |
| 三十四 | 代理事長 | 平成 1 0 年 | 川村 慎二 | 川村工務店 |
| 三十五 | 代理事長 | 平成 1 1 年 | 岡村 英治 | 岡村司法書士事務所 |
| 三十六 | 代理事長 | 平成 1 2 年 | 小木曾康裕 | カネイ産業(株) |
| 三十七 | 代理事長 | 平成 1 3 年 | 藤本 勝彦 | (有)藤本商店 |
| 三十八 | 代理事長 | 平成 1 4 年 | 西尾 健志 | (有)山栄 |
| 三十九 | 代理事長 | 平成 1 5 年 | 堀井 宣良 | 岩村城址観光(株)岩村山荘 |
| 四十 | 代理事長 | 平成 1 6 年 | 成瀬 一 | (有)成瀬電気商会 |
| 四十一 | 代理事長 | 平成 1 7 年 | 佐々木淳二 | 榊五寒天商会 |
| 四十二 | 代理事長 | 平成 1 8 年 | 成瀬 泰久 | (有)高木クレール研究所 |